

兜町の御意見番

平野憲一の相場 表街道／裏街道

第543回

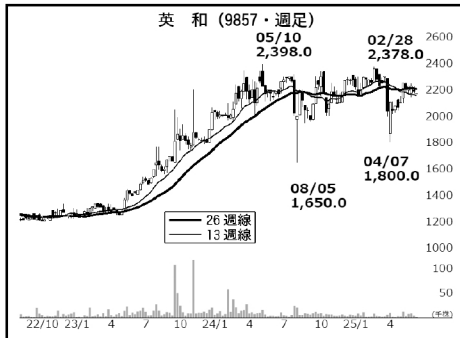


平野憲一氏プロフィール
1970年立花証券入社、2006年執行役を経て、2014年7月独立。現在、ケイ・アセット代表。株一筋50年のマーケットアナリストとして鋭い分析に定評がある。日経CNBC経済解説委員会コメンテーター。日本証券アナリスト協会検定会員。

英和(9857・S)は計測・制御機器中心の技術専門商社です。連結事業ウエイトは工業用計測制御機器48、環境計測・分析機器10、測定・検査機器4、産業機械38となっていますが、国土強靱きょうじん化に必要な特殊車両の品ぞろえが豊富です。

2025年3月期の連結業績は、例年より多く持ち越された前年度受注が売り上げに寄与したことに加え、防災・減災、国土強靱化に関連する特殊車両の販売が堅調に推移し、化学業界や電力業界に向けては、老朽化した生産設備の更新需要や生産性向上を目的とした投資需要をうまく取り込めたため、売上高471億3600万円(前期比8・9%増)、営業利益27億8600万円(同19・8%増)、経常利益28億530

英和 3000円目指す実力株



0万円(同17・9%増)、当期純利益19億5400万円(同17・2%増)と大幅な増収増益となりました。特に造船業界、建設・プラント向けの増加が顕著でした。年間配当も65円から80円へ増加し、これらのことにより、中期3カ年経営計画の最終年度の定量目標を前倒しで達成しました。

26年3月期の連結業績予想は、引き続き造船業界向け販売が増加し、社会インフラ向け特殊車両の販売は増し、業績好調となれば注目度も増すと思います。株価はここ1カ月ほどみ合っていますが、そろそろ上値取りが始まるとみえます。配当利回り3・69%、PER7・01倍、PBR0・81倍と割安で、株価目標はまずBPSの2679円(6月16日現在株価2170円)ですが、出来高がついてくれば3000円以上を目標にできる力を持つている企業だと思

堅調に推移する見通しですが、生産設備の低稼働状況が見える化学・鉄鋼業界向け販売は微減を想定して、売上高485億円(前期比2・9%増)、営業利益28億6000万円(同2・6%増)、経常利益29億2000万円(同2・3%増)、当期純利益19億6000万円(同0・3%増)としています。保守的過ぎる予想を出していますが、好調な業績は続きます。また、中期経営計画の前倒し達成に伴い定量計画を見直し、経営計画期間を一年延長(24年3月期・27年3月期)し、重点施策の推進加速で創業80周年体制を整えました。

※毎週水曜日に掲載します。